

サポートネットの体制

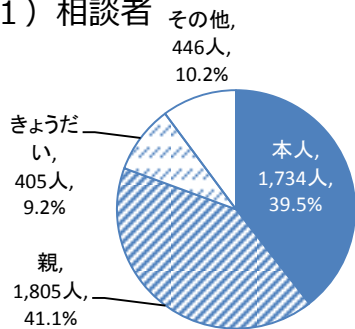
- ・ひきこもりの状態にある本人やその家族等からの相談の一次受付窓口として適切な支援に繋ぐため、①電話、②電子メール、③家庭への訪問による相談に対応（平成30年度からNPO法人青少年自立援助センターに委託）
- ・臨床心理士、公認心理師、社会福祉士、精神保健福祉士及び保健師のいずれかの資格を持った主任相談員、相談業務経験のある相談員に加え、今年度から高年齢層への対応として、社会福祉士及びファイナンシャルプランナーの有資格者を配置
- ・訪問相談の対象を35歳以上へ拡大

相談者の傾向

平成26年度から平成30年度までの累計 新規者計：4,390人、年平均：878人

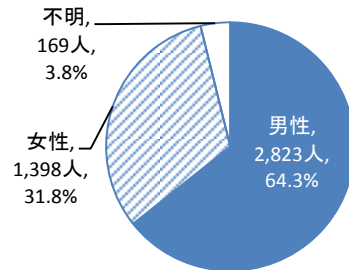
〔内訳〕 ①電話相談2,770件（63%） ②メール相談1,443件（33%） ③訪問相談177件（4%）

(1) 相談者



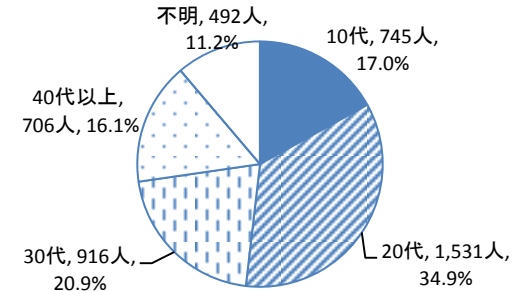
本人、親が40%程度

(2) 本人の性別



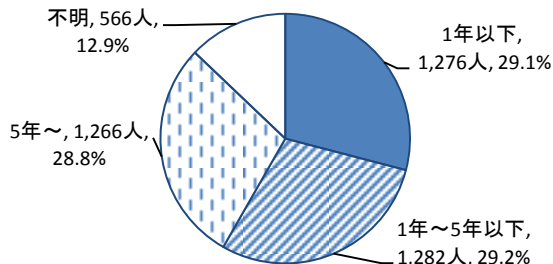
概ね男女比6：4

(3) 本人の年齢



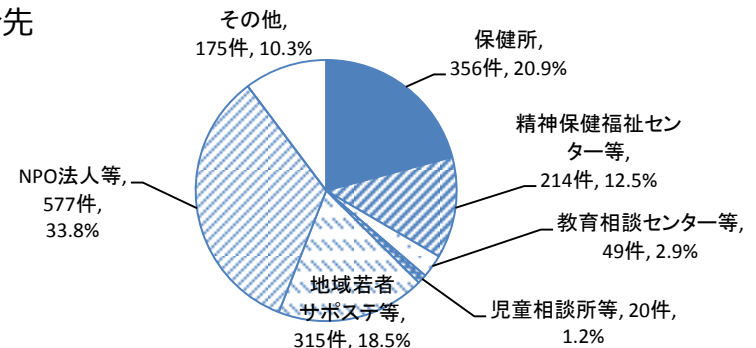
20代が最も多い（34.9%）が、40代以上も20%弱

(4) ひきこもり期間



5年以下が約半数だが、5年超も約30%にのぼる

(5) 紹介先



① NPO法人等34%、② 保健所20%、③ 地域若者サポステ等18%の順に多い